

令和元年度第2回 恵那市男女共同参画プラン推進委員会【要約】

日時：令和元年8月28日（水）午後1時30分～午後4時30分

場所：恵那市役所 西庁舎3階 災害対策室B

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議事
 - (1) 女性活躍の現状について（オブザーバーから）
 - (2) 女性活躍推進計画の検討
4. その他

次回開催 日時：令和元年9月30日（月）午後1時30分から

会場：恵那市役所 西庁舎3階 災害対策室B

5. 閉会のあいさつ

■出席者及び欠席者

	氏名	性別	選出団体等	出欠席
1	坪井 弥栄子	女	恵那市地域自治区会長会議	出席
2	伊藤 正明	男	「男女のわ」ネットワーク	出席
3	亀井 邦子	女	「男女のわ」ネットワーク	出席
4	太田 礼子	女	まちづくり団体（えなナリワイプロジェクト）	出席
5	村松 訓子	女	恵那市教育委員会	出席
6	秋山 真一	男	恵南商工会推薦企業（明知ガイシ株）	欠席
7	奥村 ひとみ	女	中津川人権擁護委員協議会 恵那市地区部会	出席
8	紀岡 伸征	男	恵那市社会福祉協議会	出席
9	曾我 守一	男	恵那市PTA連合会	欠席
10	伊東 靖英	男	恵那市壮健クラブ	出席
11	成瀬 あい	女	恵那市国際交流協会	出席

1. 開会

■司会（事務局）：定刻になりましたので始めさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。まず、会議に先立ちましてお手元の資料の確認をさせていただきたいと思いますのでお願いします。配付資料一覧があるかと思いますが、本日使用する資料は5点でございます。1点目は会議次第、資料1：女性活躍推進計画内容の検討の進め方、資料2：「恵那市の女性活躍のありたい姿」ワークショップ意見一覧、資料3：男女共同参画プランの施策の展開、参考資料1：男女共同参画プラン施策の取組状況になります。その他に、本日オブザーバーからいただいた資料になります。よろしいでしょうか。

それでは、これより第2回恵那市男女共同参画プラン推進委員会を開会いたします。私は前回に続きまして司会を務めさせていただきます、企画課長の柘植と申します。よろしくお願いいたします。なお本日は、秋山真一委員、曾我守一委員から欠席の連絡を受けておりますのでよろしくお願いいたします。なお本日の会議は「恵那市附属機関等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開といたしまして、会議録につきましても公開とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。本日のこの委員会の終了時刻は4時ということで予定しておりますのでご協力をお願いします。

それでは、坪井会長からご挨拶をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

2. 会長あいさつ

■会長：みなさんこんにちは。足下の悪い中、第2回恵那市男女共同参画プラン推進委員会に出席いただきありがとうございます。

今日は、前回に続きまして、女性活躍推進計画の内容について検討させていただきますけれども、事前に配布していただいた資料にもありますが、前回のワークショップでご意見をいただきました。この意見を分かりやすく整理をしていただいております、改めて目を通させていただいたときに、これほど多くの課題があるのかということをおもいました。それを参考にしながら今日も多くのご意見をいただきたいと思いますので、最後までよろしくお願いいたします。

■司会（事務局）：ありがとうございました。これより議事に入っていきます。議事進行については坪井会長にお願いいたします。

3. 議事

（1）女性活躍の現状について（オブザーバーから）

■会長：では、議事を進めさせていただきます。「（1）女性活躍の現状について」、オブザーバーのお二人から情報提供いただけるということですのでよろしくお願いいたします。

- 加藤オブザーバー：〔資料により説明〕
- 吉田オブザーバー：〔資料により説明〕
- 会長：ただ今、お二人から説明がありましたけれども、目から鱗と言うか、私たちの知らないことがたくさんあったと思います。

（２）女性活躍推進計画の検討

- 会長：次に、女性活躍推進計画の検討について事務局から説明をお願いします。
- 事務局：〔資料１～４により説明〕

〔グループに分かれてワークショップ形式で検討、検討結果は別紙〕

- 会長：ワークショップはだんだん話が盛り上がり、よい意見がたくさん出ました。これを事務局でまとめていただけるとと思います。今日はたくさんのお意見をありがとうございました。

４．その他

- 司会（事務局）：ありがとうございます。大変長時間にわたりまして熱い議論をしていただきありがとうございました。次回の委員会は９月３０日水曜日午後１時３０分からこの会場で開催したいと思いますのでお願いいたします。それでは最後に伊藤副会長から閉会の挨拶をお願いいたします。

５．閉会

- 副会長：今日のご苦勞様でした。前回、今回とワークショップ形式で課題や解決方法を出したりしましたが、これですべてが解決できるというわけではありません。土台として、恵那市に住んでよかった、恵那市で暮らしてよかったと思えるような女性社会、またそれについていける男性社会もできたらいいなと思いますので、今後もこうした意見をどんどん出していただきまして、恵那市のためにもなるようにしていきたいと思いますのでどうかよろしくお願いいたします。今日のご苦勞様でした。

女性活躍推進計画の検討 ワークショップ意見一覧

	基本目標	意見分類	意見	グループ
1	1. 意識	①現状と課題	・多世代家族の高齢者は男女平等の意識が薄いので、説明や広報を念入りに行う必要がある。	1
2	1. 意識	①現状と課題	・男社会の意識が強い高齢者の無理解をなくす努力が必要だが、高齢者の意識を変えることは難しい。	1
3	1. 意識	①現状と課題	・「男性は仕事、女性は家庭」と考えている一割の意識の解消を図る必要があるのかとも感じる。多様性を認めると一方で言っている。	1
4	1. 意識	①現状と課題	・アパート暮らしなどの自治会未加入者には広報紙が届かない。広報紙に良いことを書いても見てもらえないし、SNSも見ない。そういう人にどんな媒体でどのように情報を届けるかが課題。	1
5	1. 意識	②今後の取組	・13地域への説明会など、広報宣伝を積極的に行う。	1
6	1. 意識	②今後の取組	・若年層から年齢が上がるほど男女平等の意識は薄れる。消防団などでも説明して意識の向上を図る。	1
7	1. 意識	②今後の取組	・男女は平等であるという意識を改めて持つ。	1
8	1. 意識	①現状と課題	・家事や育児の分担について、当事者同士で意識のギャップがあることが問題。それを把握し解消していくことが必要。	1
9	1. 意識	②今後の取組	・お互いを人として尊重して大切に思う。	1
10	1. 意識	①現状と課題	・学校の中で教師が男女を差別することはないのだろうか？	1
11	1. 意識	②今後の取組	・学校教育では、授業の中で男女で助け合うことについて話し合う場をもつ。	1
12	1. 意識	②今後の取組	・学校行事にできる限り両親で参加し、両親が協力する姿を見せる。	1
13	1. 意識	②今後の取組	・男女平等教育を育む教育の充実に対し、これからの子ども達には、「男でも女でもやりたいことをやる、色々な生き方が選択できる」というアプローチが良いのではないか。	1
14	1. 意識	①現状と課題	・子どもは家庭での両親をよく見ているので、よい手本を示すことが大切である。	1
15	1. 意識	①現状と課題	・若者を中心に男女平等で困っていない人は、勉強会をやっても参加しないと申し、響かないのではないか。	1
16	1. 意識	②今後の取組	・講演会で一方的に話を聞くだけでは頭から抜けてしまいがち。この会議のように、子どもから高齢者までの多世代が安心して話しができる場を作り、テーマを与えて話をしてもらってはどうか。その中で、やりたいことが出ると思うので、それをやってみることで活躍の場ができるのではないか。	1
17	1. 意識	②今後の取組	・経営者と従業員の考えは違っていて当たり前、違うところを整理して認め合うことが重要。違いを認めあつた上で、企業向けと個人向けと個人向けの制度や支援策を理解する説明会(ワークショップ)を開催する。個人向けは市民講座にしても良い。	1
18	1. 意識	②今後の取組	・女性活躍という概念が分かりづらいので、現在活躍して(生き生きと輝いて)いる、様々な分野・年代の複数の女性の体験談を短編の小さなセミナー形式などで聞く場をつくる。	1
19	1. 意識	①現状と課題	・企業や事業主がワークライフバランスの推進に取り組む事に対して意識が低い。なぜ取り組まなければいけないのかが分かっていないので、事業の継続や業績アップのために役立つことを分かってもらわなければいけない。ロールモデルや事例を直接聴く機会が必要。	1
20	1. 意識	②今後の取組	・家族の役割分担や協力について話し合う機会をつくる。	1
21	1. 意識	②今後の取組	・世代ごとに現状・課題・解決策を洗い出して取り組んでいく必要がある。	1
22	1. 意識	②今後の取組	・家庭では夫婦間、働く場では経営者と従業員など、相互理解のためのワークショップを実施し違いを認め合うとともに、ギャップを把握する。	1
23	2. 環境	①現状と課題	・建前と本音がある。女性は、女性の管理職登用に賛成しているが、自身は無理だと思っている。【統計から】	1
24	2. 環境	①現状と課題	・女性が目立つ役職や場所(地域役員など)にいと偏見がある。	1
25	2. 環境	②今後の取組	・各種委員会・審議会の女性登用をクォータ制(一定割合の割り当て制)にする。	1
26	2. 環境	①現状と課題	・家庭と仕事の両立は難しい。管理職やフルタイム就労は責任が重く帰宅時刻も遅くなりがちなので尻込みしてしまう。	1
27	2. 環境	②今後の取組	・職場は女性の生活に合わせた就業規則や環境を整える。	1
28	2. 環境	②今後の取組	・働きやすい環境を考えるにあたっては、経営者が勝手に決めるのではなく、実際に働いている女性の声を聞き正しくニーズの把握をする。	1
29	2. 環境	①現状と課題	・女性は常に家庭や家事のことが頭にあって仕事に没頭できない。	1
30	2. 環境	①現状と課題	・家事は協力があっても女性が主にやることになっているのが現実。しかし、女性の意識の問題でもある。自分がやらなくても夫や子どもなど誰かがやるように仕向けていかなければいけない。	1
31	2. 環境	②今後の取組	・30代のお母さん防災リーダーが必要。対象者に聞いてもらうには、同世代、同カテゴリーの人が話す効果が高いと思う。	1
32	2. 環境	①現状と課題	・女性の意識を変えていくことが必要。	1
33	2. 環境	②今後の取組	・行政、ハローワーク、経営者の代理人、従業員の代理人の4者による討論会やパネルディスカッションを行う。現在検討中。	1
34	2. 環境	②今後の取組	・自分の働き方は自分で決めるための支援に取り組む。	1
35	2. 環境	①現状と課題	・労働力不足で外国人に頼っているが、女性に活躍してもらわないと日本がだめになる。また女性だけでなく、障害者、高齢者の就業率を上げていくことも必要。	1
36	2. 環境	①現状と課題	・職場はまだ男性中心だが、人材不足から女性を求める声が多い。	1
37	2. 環境	②今後の取組	・新たに女性が就業するにあたっては、能力や教養を高めていく必要がある。	1
38	2. 環境	②今後の取組	・お金がいるからなんとなく働くのではなく、どの分野で活躍するか、ワークとライフバランスはどの程度を目指すか、それを考える事をサポートするような取り組みがあると良い。	1
39	2. 環境	②今後の取組	・若者に対しては、普通の企業説明会では見えてこない、会社の紹介ではなくそこで働く人にフォーカスしたもの、こんな生き方ができるというものを作ってほしい。	1
40	2. 環境	②今後の取組	・10代の生徒・学生に自分の望む生き方を考えることで、働くことやワークライフバランスについて考える授業を講師派遣して行ってみたい。学生に限らず対象を広げて行ってほしい。	1
41	2. 環境	②今後の取組	・くらしビジネスサポートセンターで女性活躍の支援も含めた何らかの取り組みを行う。女性専用とはせず、部門の垣根を取り払った、よろず相談窓口。	1

女性活躍推進計画の検討 ワークショップ意見一覧

	基本目標	意見分類	意見	グループ
42	2. 環境	②今後の取組	・女性センターは恵那市の規模では単独では成り立たないと思うが、くらしビジネスサポートセンターの中に女性センターも入り女性の相談も受けていけると良いと思う。目的がなくても、女性でも誰でも気軽にに行ける場になると良い。	1
43	2. 環境	②今後の取組	・企業でも家庭でも、男女平等という意識改革が必要。	2
44	2. 環境	①現状と課題	・企業側では出産により育児休業を取得されるとその間の対応に苦慮する。育児休業期間中限定で募集しても応募がないし、常勤を雇ってしまうと育児休業から復帰されたときに人員余りが発生してしまう。企業規模がある程度あればカバーができる。数名の企業では難しいかもしれないが、それでも実現している企業もあるので、経営者の考え方によるところが大きい。	2
45	2. 環境	①現状と課題	・女性側にも管理職や長になりたくないという意識がある。	2
46	2. 環境	②今後の取組	・委員会等の男女の比率を定める。	2
47	2. 環境	①現状と課題	・男性社会になっている組織が多い。	2
48	2. 環境	②今後の取組	・職場内の賃金や昇格などの男女差別をなくす。	2
49	2. 環境	②今後の取組	・企業内で誰もが上級職を目指す教育体制を作る。	2
50	2. 環境	②今後の取組	・年間休日の多い会社や残業の少ない会社等のPRをし、より良い就業環境づくりに取り組むことのメリットを増やす。	2
51	2. 環境	②今後の取組	・公的機関が率先してワークライフバランスの推進をし、その姿を見せる。	2
52	2. 環境	②今後の取組	・男性が育児休業を取得しやすくする。	2
53	2. 環境	①現状と課題	・企業に定時に退社できる体制ができていない。	2
54	2. 環境	①現状と課題	・女性は出産したら仕事を辞めないといけないう、職場の風土や既成概念が一部で残っている。	2
55	2. 環境	①現状と課題	・男性女性に限らず有給休暇が取りにくい。また、昇進に影響があるのではないかという意識から、男性の育児休業が取りにくい。	2
56	2. 環境	②今後の取組	・企業が多様な就業形態(短時間勤務など)を取り入れるためのトップの意識改革や、相談支援などを行う。	2
57	2. 環境	①現状と課題	・人を求めるなら会社にも努力が必要だが、それをしていない若しくはできていない会社が多い。	2
58	2. 環境	①現状と課題	・子供のことは父親か母親かどちらかで対応できれば良いので、家庭生活での男女共同参画意識の育成が重要。	2
59	2. 環境	①現状と課題	・夫婦が同じようにフルタイムで働いていても、家庭の事は女性の方が担う割合が高いというケースが多い。	2
60	2. 環境	①現状と課題	・家庭内で女性が外に出る体制が出来ていない。	2
61	2. 環境	①現状と課題	・地域の役は男性がやるという既成概念があるが、自治会の役員は世帯主(男性)に依頼するため世帯主表記になることが原因ではないか。実際に役割を担っているのは奥さんの場合も多い。	2
62	2. 環境	①現状と課題	・自治会等に女性が参加できる体制がない。	2
63	2. 環境	②今後の取組	・地域役員への女性の進出。実際にその役を担っている奥さんの名前を表に出して活動してもらえるように取り組む。	2
64	2. 環境	②今後の取組	・子どもの頃から家庭内での役割は平等という教育をしっかりとしていく。	2
65	2. 環境	②今後の取組	・女性が家を空けるときに、男性が送り出せるように日常で話し合って体制をつくっておく必要がある。女性が家庭のことをやるのが当たり前という意識や、女性が男性に家庭のことを預けて出てくることは悪いことという意識を変えていくことが必要。	2
66	2. 環境	②今後の取組	・家庭における役割も平等にするための教育で、男性の家事や育児講座を実施し、男性の意識を家庭や子育てに向けてのようにする。講座などに出かけるのが苦手な人もいるので、アミックスコムのコミュニティチャンネルを活用する。	2
67	2. 環境	②今後の取組	・現状、防災の支援物資で乳幼児に必要なものなどは子育てをしている人しか分からないので、分かる人に入ってもらい必要な物資を検討してもらう。	2
68	2. 環境	①現状と課題	・女性の中にもいろいろな考えを持つ人がいるので、プランの文章の中で、女性の視線とひとくくりにするのはおかしいのではないかと。	2
69	2. 環境	②今後の取組	・企業、商工会議所、ハローワーク、市などで連携を強化して、情報を発信や取り組みを行うことで、女性の活躍をサポートする。	2
70	2. 環境	②今後の取組	・恵那市の祝日をつくって会社も学校もみんな休む。	2
71	3. 体制	①現状と課題	・男女の賃金格差が大きいと、男性が働きに出ることになる。それにより女性の働く場が少なくなる。	2
72	3. 体制	①現状と課題	・職場で子育て世代への理解や配慮がない。急に休みが取れないなど。	2
73	3. 体制	②今後の取組	・企業が子育て支援や福利厚生に力を入れていることで多くの人材が集まるなどのメリットがあると思う。企業の取り組みのPRをすることにより、企業が子育て支援に取り組むを推進していく。企業が取り組むことによるメリットを増やすため、各種認定制度がどういったものなのか一般の方への理解を促進していくことも大切。	2
74	3. 体制	②今後の取組	・国の支援制度などを企業が知らないことで従業員が支援を受けられないという状況があるのではないかと。企業への意識啓発と制度等のPRにより企業の取り組みを促す。	2
75	3. 体制	①現状と課題	・こども園や小学校の警報発令時や学級閉鎖時など、いざというときに子どもの預け先に困る。	2
76	3. 体制	①現状と課題	・こどもの預かりの体制は充実してきているが、週末や長期休暇の放課後児童クラブ、こども園などといった支援の充実。	2
77	3. 体制	①現状と課題	・放課後児童クラブが足りていない。高学年を中心に、本当は利用したいが利用できていないと聞く。	2
78	3. 体制	①現状と課題	・こども園の未満児保育の定員が少なく預けられない。0歳児から預けられる園が増えると良い。	2
79	3. 体制	①現状と課題	・食物アレルギーの子どもの預けられない場合がある。	2
80	3. 体制	①現状と課題	・保育教諭、放課後児童クラブ支援員・指導員などの不足が深刻。	2
81	3. 体制	①現状と課題	・子育て支援制度(保育・学童・ファミリーサポート)を知らないため支援を受けられない人がいる。周知不足か。	2

女性活躍推進計画の検討 ワークショップ意見一覧

	基本目標	意見分類	意見	グループ
82	3. 体制	②今後の取組	・ショッピングセンター内など身近なところに気軽に子育て相談・支援の場があるとよい。	2
83	3. 体制	①現状と課題	・親の送迎に頼る高校生は、親の仕事が終わって迎えに来てもらうまでの放課後の居場所が少ない。	2
84	3. 体制	②今後の取組	・大井町では、大井町の行在所を小学生から高校生が夜9時頃までいられる居場所にするように進めている。通学路沿いにそういう場所をつくるのが施策になると良い。	2
85	3. 体制	②今後の取組	・こども食堂があるとよい。ただし、小学生は一度帰宅してからでないといけないというルールがあるようなのでそこも課題である。	2
86	3. 体制	①現状と課題	・企業が子育て支援制度を知らないのではないかと。	
87	3. 体制	②今後の取組	・企業内や複数企業合同での企業内保育所などの子育てサポート施設があるとよい。	2
88	3. 体制	②今後の取組	・地域のシニア世代が子育てを支援できるシステム作り。ご近所での見守りなど。	2
89	3. 体制	②今後の取組	・地域が子育て世代の人たちと関わりを持ち、子育て世代の現状を知ることが必要。	2
90	3. 体制	②今後の取組	・対象を高齢者だけではなく若い世代にも広げた、日常的な支援してくれる家事サポートの仕事ができると良い。料理ならまかせてという女性が多いので食事をつくってもらえたりすると良い。それが高齢者の働く場になると良い。3世代同居のおじいちゃんおばあちゃんがサポートしてくれる部分に当たるようなサービスや仕組みができると良い。	2
91	3. 体制	②今後の取組	・地域内の高齢者を対象としたサポート(ごみ出し1回いくらなど)を、子育て世代が求めるサポートへも拡充してできると良い。単価が高いと頻りに利用できないので、日常的に利用できる単価での仕組みづくり。	2
92	3. 体制	①現状と課題	・保育所をつくって保育士を雇うほどの体力がない企業が多い。また、目に見えた生産性向上などの効果が感じられにくい。助成金を使って実現できた企業中にはある。	2